

事務事業名	市民会館施設管理費										担当課	部課名	生涯学習部文化芸術課			
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	14	細目	001	説明	01	課等の長	横田 隆一	電話	6743

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 43 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	市民会館の清掃、警備、舞台、受付窓口業務などの総合管理委託を行うとともに、施設・設備の修繕を実施することで利用者の利便性を確保し、市民へ音楽・演劇等の発表と鑑賞の場を提供する。						
対象	1. 個人	市民					433,060 人
根拠法令等	法律等	藤沢市民会館条例・施行規則、建築物における衛生的環境の確保に関する法律 ほか					
事業実施内容	市民会館の施設利用者の利便性の維持や文化芸術の発表・鑑賞の場の提供等を目的とし、以下のことを実施した。 ・舞台業務・受付・警備・清掃など運営管理の委託 ・施設・設備・機器等の整備と修繕 ・施設管理予約システムの運用 ・庭園・旧近藤邸の維持管理						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 藤沢市民会館サービス・センター株式会社, 社会福祉法人ひばりハート、ピア湘南 ほか) (委託等内容 : 市民会館舞台・設備・受付等の業務, 市民会館の外まわり除草・清掃 ほか) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (負担金 : 公益財団法人藤沢市まちづくり協会, 全国公立文化施設協会 等) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 338,056 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	53,769 千円	光熱水費, 物品修繕, 施設修繕ほか
		使用料及び賃借料	15,739 千円	施設予約管理システム, 大ホール舞台照明調光操作卓貸貸借ほか
		委託料	211,963 千円	市民会館舞台・設備・受付等業務委託, 除草清掃業務委託ほか
		負担金補助及び交付金	52,735 千円	奥田公園駐車場負担金, 全国公立文化施設協会会費ほか
その他	3,850 千円	還付金, 手数料, 旅費		
財源内訳	R元年度 支出済額 338,056 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料	42,977 千円	
		国庫支出金		
		県支出金		
その他	20,721 千円	(光熱水費実費収入, 奥田公園駐車場利用料金納付金)		
一般財源	274,358 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	2.20
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	2.20

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度										
コスト 支出	行政費用 A	376,233	374,568	368,447	372,107										
	(1)現金を伴う支出 (千円)	363,605	362,422	355,882	359,437										
	事業費(支出済額-②報酬合計)	342,385	341,155	334,683	338,056										
	償還金利息	0	0	0	0										
	人件費合計(①+②+③)	21,220	21,267	21,199	21,381										
	①職員給与合計(常勤)	20,022	20,282	20,167	20,110										
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0										
	③退職金相当額	1,198	985	1,032	1,271										
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	12,628	12,146	12,565	12,670										
	①減価償却費	12,699	12,699	12,802	12,651										
	②退職給与引当金繰入額	-71	-553	-237	19										
	③不納欠損額	0	0	0	0										
	④その他()	0	0	0	0										
	市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	885.04	425.105	876.18	427.501	858.22	429.317	859.25	433.060						
	成果実績	指標名	施設稼働率 (大・小ホール, 第1・2展示集会 ホール平均)	目標	90	単位	%	90	単位	%	90	単位	%	90	単位
実績		86.80	単位	%	86.55	単位	%	87.03	単位	%	82.53	単位	%		
数値で表せない効果又は上記指標名の 設定ができない理由															
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)	4,334,481.57	4,327,764.30	4,233,563.14	4,508,748.33											

※1 職員数…〔常勤〕一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員(一部月額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費…〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬(一部月額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額…年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	開館から50年以上が経過し, 老朽化や機能低下が進んでいる。快適な利用環境を維持するための修繕を要する箇所が増加傾向にある。
(2) (1)解決のための今後の取組	日頃から点検・保守を行い, 優先順位をつけて修繕を実施し, 利用環境を維持する。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	市民会館を良好な利用環境に保つことで, 利用者が安心して文化活動を行うための場と鑑賞する機会を提供することができた。また, 施設予約システムを運用することでホールや会議室等の貸館業務を円滑に行うことができた。
今後の方針	事業の方向性 現状維持
	市民会館の再整備を予定する中においても, 文化芸術活動の場として良好な利用環境や利用者の安全確保を図る必要があるため, 今後も適切な施設管理を行っていく。

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
3	市民会館管理・運営に関すること	有	有		1
4	市民会館の優先確保に関すること	有	有	1	1
5	市民会館の使用に関すること	有	有	1	1
6	市民会館の使用料に関すること	有	有	1	1
7	施設予約管理システムに関すること	無	有	1	
8	目的外使用に関すること	無	有	1	1

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2020.8.24
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	湘南台文化センター施設管理費										担当課	部課名	生涯学習部文化芸術課			
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	15	細目	001	説明	01	課等の長	横田 隆一	電話	6743

1. 事業概要

事業開始年度	平成 元 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	湘南台文化センター利用者が、快適な環境で施設を利用し、サービスを受けられるよう指定管理者による運営を行う。						
対象	1. 個人	市民				433,060 人	
根拠法令等	法律等	藤沢市湘南台文化センター条例・施行規則, 建築物における衛生的環境の確保に関する法律ほか					
事業実施内容	湘南台文化センターの施設運営を指定管理者制度により実施した。 ・施設全般の効率的な維持管理及び修繕 ・舞台設備等の賃貸借 ・子ども達の創造性や豊かな人間性を育む場としてのこども館の運営 ・市民の文化芸術鑑賞の場, 自主的な文化活動の場としての市民シアターの運営						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (指定管理者 : (公財)藤沢市まちづくり協会・藤沢市民会館サービスセンター(株)共同事業体) (委託等内容 : 湘南台文化センターの指定管理) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 316,906 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		旅費	6 千円	普通旅費
		需用費	5 千円	消耗品
		委託料	276,586 千円	湘南台文化センター指定管理料
使用料及び賃借料	40,309 千円	プラネタリウム機器, 照明設備等の賃貸借		
財源内訳	R元年度 支出済額 316,906 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 ()				
一般財源	316,906 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	0.80
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.80

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
 ＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
コスト 支出	行政費用 A	418,367	419,863	416,156	388,918			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	354,123	355,794	350,315	324,681			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	346,406	348,061	342,606	316,906			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	7,717	7,733	7,709	7,775			
	①職員給与合計(常勤)	7,281	7,375	7,334	7,313			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	436	358	375	462			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	64,244	64,069	65,841	64,237			
	①減価償却費	64,270	64,270	65,927	64,230			
	②退職給与引当金繰入額	-26	-201	-86	7			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他 ()	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	984.15	425,105	982.13	427,501	969.34	429,317	898.07	433,060

成果実績	指標名 施設利用者数 (こども館・市民シアター)	目標	259,000	単位 人	261,500	単位 人	264,000	単位 人	266,500	単位 人
		実績	266,524	単位 人	281,077	単位 人	287,513	単位 人	240,881	単位 人
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由									
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		1,569.72	1,493.77	1,447.43	1,614.56					

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	施設を快適かつ安全な状態に保つため，電気・空調・給排水設備などの日常保守や保守点検を指定管理者を通じて適切に行う必要がある。
(2) (1)解決のための今後の取組	指定管理者との綿密な連絡調整及び的確な指導を行う。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	指定管理者のノウハウを活用した事業実施や軽易な修繕等についての迅速な対応などにより，市民サービスの向上に資することができた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	利用者が快適に安心して利用できるよう指定管理者との綿密な連絡調整及び的確な指導を行い，より良い施設となるよう取り組んでいく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
19	湘南台文化センターの指定管理者に対する運営指導	有	有		1

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2020.8.24
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	湘南台文化センター整備費										担当課	部課名	生涯学習部文化芸術課			
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	15	細目	002	説明	01	課等の長	横田 隆一	電話	6743

1. 事業概要

事業開始年度	平成 元 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	湘南台文化センター利用者の安全確保と利便性向上, 文化センターの機能維持のために改修工事等を行う。						
対象	1. 個人	市民				433,060 人	
根拠法令等	法律等	藤沢市湘南台文化センター条例・施行規則, 建築物における衛生的環境の確保に関する法律					
事業実施内容	湘南台文化センター利用者の安全確保と機能維持のため改修工事や修繕を実施した。 ・外壁等改修工事 ・泡消火設備, 汚水ポンプ等の修繕						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 29,544 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	4,277 千円	泡消火設備, 汚水ポンプ等修繕
		工事請負費	25,267 千円	外壁等改修工事
財源内訳	R元年度 支出済額 29,544 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 ()				
一般財源	29,544 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	0.20
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.20

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
 ＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
コスト 支出	行政費用 A	19,662	7,350	45,233	31,188			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	19,669	7,400	44,953	31,488			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	17,740	5,466	42,062	29,544			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	1,929	1,934	2,891	1,944			
	①職員給与合計(常勤)	1,820	1,844	2,750	1,828			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	109	90	141	116			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-7	-50	280	-300			
	①減価償却費	0	0	0	0			
②退職給与引当金繰入額	-7	-50	280	-300				
③不納欠損額	0	0	0	0				
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	46.25	425,105	17.19	427,501	105.36	429,317	72.02	433,060

成果実績	指標名 施設利用者数 (こども館・市民シアター)	目標	259,000	単位 人	261,500	単位 人	264,000	単位 人	266,500	単位 人
		実績	266,524	単位 人	281,077	単位 人	287,513	単位 人	240,881	単位 人
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由									
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		73.77	26.15	157.33	129.47					

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	施設及び設備の老朽化が進んでいることから，修繕等の必要箇所が増加傾向にある。
(2) (1)解決のための今後の取組	施設及び設備の現状把握を行い，指定管理者と協議しながら計画的な整備計画を立てる。突発的な修繕に関しては，早期の対応が必要かを見極めたうえで対応する。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	外壁等改修工事や設備等の修繕を行うことで，良好かつ安全な利用環境を確保することができた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	経年劣化による施設の老朽化も顕在化し始めていることから，利用者が引き続き快適に安心して利用できるよう，指定管理者と協力しながら施設修繕等を実施していく。また，緊急的な施設修繕については，指定管理者とのリスク分担に応じた対応を原則としつつ，協議のうえで実施していく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
9	湘南台文化センターに関すること	有	有		1

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2020.8.24
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	文化行政一般事務費										担当課	部課名	生涯学習部文化芸術課			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	04	細目	001	説明	01	課等の長	横田 隆一	電話	6743

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 58 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	文化行政推進のため、催し物案内ポスター掲示板の維持管理等を行う。						
対象	1. 個人	市民				433,060 人	
根拠法令等							
事業実施内容	・催し物案内ポスター掲示板の維持管理 ・発表会等出場賞賜金の支給						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 1,175 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		賃金	1,034 千円	パート賃金
		報償費	105 千円	第47回マーチングバンド全国大会出場者に対する賞賜金等
		旅費	2 千円	普通旅費
		役務費	34 千円	催し物案内ポスター掲示板賠償責任保険
財源内訳	R元年度 支出済額 1,175 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ()		
		一般財源	1,175 千円	

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	0.10
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.10

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
 ＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
コスト 支出	行政費用 A	2,999	2,994	3,004	1,545
	(1)現金を伴う支出 (千円)	3,009	3,069	3,036	2,147
	事業費(支出済額-②報酬合計)	116	169	145	1,175
	償還金利息	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	2,893	2,900	2,891	972
	①職員給与合計(常勤)	2,730	2,766	2,750	914
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
	③退職金相当額	163	134	141	58
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-10	-75	-32	-602
	①減価償却費	0	0	0	0
	②退職給与引当金繰入額	-10	-75	-32	-602
	③不納欠損額	0	0	0	0
④その他 ()	0	0	0	0	
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	7.05	7.00	7.00	3.57	
	425,105	427,501	429,317	433,060	

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		主な事業が一般事務経費であるため指標設定は困難である。							
実績1 単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）
 ※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額
 ※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	催し物案内ポスター掲示板の一部にゆがみの発生や老朽化が進んでいることから，撤去も含めた検討が必要である。
(2) (1)解決のための今後の取組	市内各所に設置された催し物案内ポスター掲示板の設置場所や状態を確認し，必要性について検討する。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	催し物案内ポスター掲示板による文化事業の広報を行うことにより，市の文化事業を周知することができた。また，催し物案内ポスター掲示板について，火災保険及び賠償保険に加入することで，不測の事態に備えた。	
	事業の方向性	現状維持
今後の方針	今後も継続して安全に配慮しながら催し物案内ポスター掲示板を管理していく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
11	賞賜金に関すること	無	無	1	1

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2020.8.24
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	市民ギャラリー運営管理費										担当課	部課名	生涯学習部文化芸術課			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	04	細目	001	説明	02	課等の長	横田 隆一	電話	6743

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 61 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	市民ギャラリーの良好な利用環境維持に努めるとともに、来場者が快適な空間で鑑賞できるよう施設の維持管理を行う。						
対象	1. 個人	市民					433,060 人
根拠法令等	条例(市)	藤沢市民ギャラリー条例・施行規則					
事業実施内容	市民ギャラリーの運営・管理を行った。 市民ギャラリーを、ルミネ藤沢からODAKYU湘南GATEへ移転した。 また、次の事業を実施した。 ・わたしのすきな絵本展(7月1日～7月14日) 入場者数:6,925人 ・第22回藤沢市公民館サークル連合写真展(11月26日～12月1日) 入場者数:2,251人 ・第33回藤沢市公民館サークル連合美術展(12月3日～12月8日) 入場者数:2,328人 ・第33回藤沢市高等学校美術展(1月14日～1月19日)入場者数:2,771人 ・第20回カナガワビエンナーレ国際児童画展巡回展(2月25日～3月1日)入場者数:785人						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 有限会社工匠, 総合警備保障株式会社) (委託等内容 : 市民ギャラリー清掃委託, 市民ギャラリー深夜等警備委託) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (負担金 : 株式会社ルミネ) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 35,577 千円	事業費節別内訳		主な事業内容										
		費目	支出済額 (千円)											
		報酬	7,175 千円		非常勤職員報酬									
		役務費	2,790 千円		市民ギャラリー移転業務									
		使用料及び賃借料	22,114 千円		ルミネ藤沢賃借料, 複写機賃借料									
財源内訳	R元年度 支出済額 35,577 千円	事業費節別財源内訳		3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数) <table border="1"> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> </tr> <tr> <td>正規職員等</td> <td>0.50</td> </tr> <tr> <td>再任用短時・任期付短時職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員</td> <td>3.40</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3.90</td> </tr> </table> ※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外) ＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員		令和元年度	正規職員等	0.50	再任用短時・任期付短時職員	0.00	非常勤職員	3.40	合計	3.90
			令和元年度											
		正規職員等	0.50											
		再任用短時・任期付短時職員	0.00											
		非常勤職員	3.40											
合計	3.90													
費目	支出済額 (千円)													
分担金・負担金														
使用料・手数料	2,244 千円													
国庫支出金														
県支出金														
その他 ()														
一般財源	33,333 千円													

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
コスト 支出	行政費用 A	86,761	85,803	88,797	39,838			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	86,777	85,929	88,248	40,437			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	74,891	74,032	74,328	28,402			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	11,886	11,897	13,920	12,035			
	①職員給与合計(常勤)	4,551	4,610	6,417	4,571			
	②報酬合計(非常勤)	7,063	7,063	7,175	7,175			
	③退職金相当額	272	224	328	289			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-16	-126	549	-599			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-16	-126	549	-599			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	204.09	425,105	200.71	427,501	206.83	429,317	91.99	433,060

成果実績	指標名	市民ギャラリー稼働率	目標	100	単位	100	単位	100	単位	100	単位
				%		%		%		%	
	実績	実績	98.0	単位	99.3	単位	99.3	単位	92.8	単位	
			%		%		%		%		
数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由											
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			885,316.33	864,078.55	894,229.61	429,288.79					

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	利用団体が固定化されており，新規利用を希望する団体が少ない。
(2) (1)解決のための今後の取組	同フロアにある南市民図書館来館者に市民ギャラリーをPRし，新規団体の利用に繋げていく。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	市民ギャラリーをルミネ藤沢からODAKYU湘南GATEへ移転し，良好な施設環境を得ることで観覧者数の増加につながった。また，わたしのすきな絵本展や藤沢市高等学校美術展，カナガワビエンナーレ国際児童画展巡回展を開催したことにより，本市の文化活動の振興に寄与した。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	本市の文化芸術の振興を図るため，市民が作成した美術作品を展示，鑑賞できる場所を提供することは重要であることから，引き続き事業を実施するとともに，同一フロアの南市民図書館と連携した事業についても検討・実施していく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
14	市民ギャラリーの管理・運営に関すること	有	有	1	
15	市民ギャラリー使用申請・許可業務に関すること	有	有	1	1
16	主催事業に関すること	有	有	1	
17	地下道展示場に関すること	有	有	1	
18	藤沢市民ギャラリー運営協議会に関すること	有	有	1	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2020.8.24
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	収蔵美術資料管理事業費										担当課	部課名	生涯学習部文化芸術課			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	04	細目	001	説明	05	課等の長	横田 隆一	電話	6411

1. 事業概要

事業開始年度	平成 28 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	市が所蔵する美術品、工芸品等を免震・耐火構造・定温・定湿設備を備えた専用の倉庫に保管することで、劣化や毀損を防ぎ、良好な状態に保つ。						
対象	4. その他	市所蔵美術品・工芸品等				2,286 点	
根拠法令等							
事業実施内容	民間倉庫を借り上げ、市所蔵の美術品・工芸品等を適切に保管管理した。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 三井倉庫株式会社 関東支社) (委託等内容 : 美術品・工芸品等の保管管理) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 4,416 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		報償費	70 千円	講師謝礼
		役務費	160 千円	作品運搬料
		委託料	4,186 千円	美術品等保管管理委託料
財源内訳	R元年度 支出済額 4,416 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ()		
		一般財源	4,416 千円	

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	0.10
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.10

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
行政費用 A	3,669	3,021	4,269	5,389
(1)現金を伴う支出 (千円)	3,332	3,046	4,280	5,388
事業費(支出済額-②報酬合計)	2,368	2,079	3,316	4,416
償還金利子	0	0	0	0
人件費合計(①+②+③)	964	967	964	972
①職員給与合計(常勤)	910	922	917	914
②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
③退職金相当額	54	45	47	58
(2)現金を伴わない支出 (千円)	337	-25	-11	1
①減価償却費	0	0	0	0
②退職給与引当金繰入額	337	-25	-11	1
③不納欠損額	0	0	0	0
④その他 ()	0	0	0	0
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	8.63	7.07	9.94	12.44
	425,105	427,501	429,317	433,060

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		事業の性質が施設賃借的要素が強いものであるため、指標の設定ができない。							
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-		-		-		-		-

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	収蔵している作品数が2,300点あまりにものぼることから，すべての作品の状態を確認するために時間を要する。
(2) (1)解決のための今後の取組	作品の状態を効率的に確認するために，収蔵作品の整理等を行っていく。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	市が所蔵する美術品・工芸品等を適切に保管管理することで，価値の減損なく良好な状態を維持することができた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	引き続き適切な管理を継続し，美術品・工芸品等の保管を行っていく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
20	アートのスペースの管理・運営に関すること	有	無	1	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2020.8.24
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	文化振興基金積立金										担当課	部課名	生涯学習部文化芸術課			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	04	細目	003	説明	01	課等の長	横田 隆一	電話	6743

1. 事業概要

事業開始年度	平成 3 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	文化芸術の振興を継続的に行うための財源を確保することを目的として文化振興基金へ積立を行う。						
対象	1. 個人	市民					433,060 人
根拠法令等	条例(市)	藤沢市文化振興基金条例					
事業実施内容	文化振興基金への寄付金及び積立金利子を、文化振興基金に積立てた。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 13,448 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		積立金	13,448 千円	文化振興基金積立金及び積立金利子
財源内訳	R元年度 支出済額 13,448 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
	(文化振興基金寄 その他 付金, 文化振興 基金利子収入)	13,448 千円		
	一般財源			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	0.30
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.30

※正規職員等=正規職員+再任用職員(短時以外)+任期付職員(短時以外)+常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
コスト 支出	行政費用 A	12,344	12,827	9,145	16,667			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	12,347	12,852	8,855	16,363			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	11,383	11,885	6,928	13,448			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	964	967	1,927	2,915			
	①職員給与合計(常勤)	910	922	1,833	2,742			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	54	45	94	173			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-3	-25	290	304			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-3	-25	290	304			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他 ()	0	0	0	0			
	市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	29.04	425,105	30.00	427,501	21.30	429,317	38.49

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		市民や団体等からの善意の寄付金に対して指標の設定はできないため。							
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-		-		-		-		-

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）
 ※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額
 ※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	文化振興のための財源の一つとして，文化振興基金についてより一層の周知を行う必要がある。
(2) (1)解決のための今後の取組	事業実施時などに文化振興基金を周知し，寄付についての呼びかけをしていく。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	一定額の寄付を集めることで，市民が芸術文化に親しむための基盤の強化に繋がった。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	文化振興を安定的かつ継続的に実施することを目的として，今後も文化振興基金への積立を実施していく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
1	文化振興基金に関すること	無	無	1	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2020.8.24
----	-------	----	-------	-----	-----------